

熊本県阿蘇市・高森町・南阿蘇村における 実証調査(市町村管理構想)の取組概要

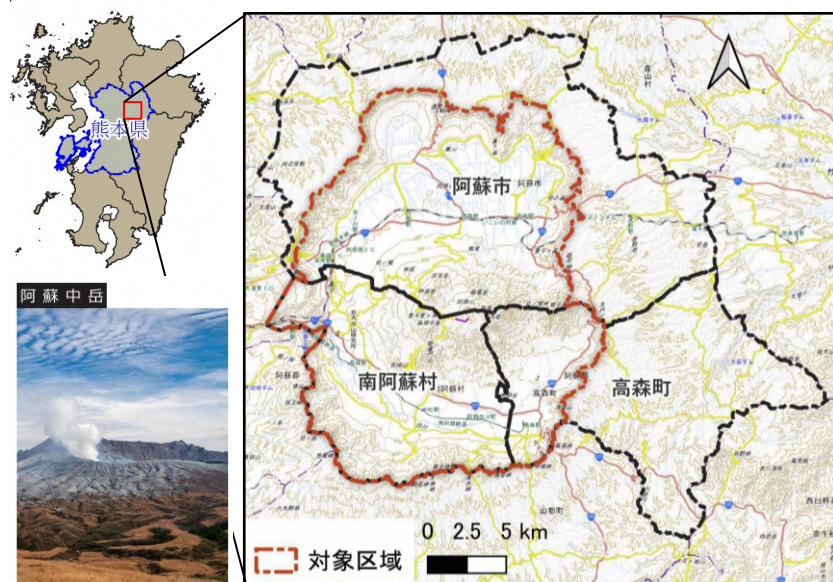
- R8年5月より市町村管理構想の実証調査を開始。
- 3市町村（阿蘇市、高森町、南阿蘇村）連携のもとで「阿蘇地域」としての市町村土の利用・管理のあり方を示す。
- 土砂災害リスクの高い地域であることを踏まえ、土砂災害対策に配慮しつつ、地域生活拠点の設定なども含めた集落機能の維持のあり方について検討を進める。

■ **対象地域**：阿蘇カルデラ内の3市町村
（阿蘇市、高森町、南阿蘇村）

■ 対象地域の概要

・ 阿蘇カルデラ内は、阿蘇くじゅう国立公園、世界農業遺産、ユネスコ世界ジオパークに指定・認定され、重要な自然、文化が残されている。

- ・ **阿蘇市**：人口22,446人
高齢化率41.0%、若年人口率 11.9%
- ・ **高森町**：人口4,529人
高齢化率41.5%、若年人口率10.6%
- ・ **南阿蘇村**：人口9,836人
高齢者比率42.7%、若年人口率7.8%



出典（地図）国土地理院地形図、国土数値情報、（左下写真）阿蘇砂防事務所HP

【実証調査の応募に至った経緯】

- ・ 3市町村とも人口減少や高齢化が進行し、荒廃農地や空き家等が増加している。
- ・ 阿蘇カルデラ内は土砂災害警戒区域等に囲まれており、過去から土砂災害によって大きな被害を受けてきた（昭和28年、平成2年、平成24年、平成28年に甚大な被害発生）。
- ・ 地域資源（重要な自然文化）の活用や、地域内の産業（観光業・農林畜産業等）の活性化が課題。
- ・ こうした課題を放置すれば、安心して暮らせる環境を守ることができないという危機感から、3市町村の広域連携のもと、今後の市町村土の利用・管理のあり方について検討することになった。

■ 検討体制：

・ 中心主体：阿蘇市・高森町・南阿蘇村

各市町村は建設課が主担当となり、検討の進捗に応じて農政・観光・防災・まちづくり・企画政策等関係部署を検討体制に追加。

・ 総合窓口：熊本県（砂防課・阿蘇地域振興局）市町村間の意見の総合調整等。

・ 多様な主体との連携：

地域資源の活用の観点から「（一社）高森観光推進機構（DMO）」などの関係団体や企業、外部専門家等と連携を図る予定。

土砂災害のリスクの観点から国土交通省九州地方整備局阿蘇砂防事務所、熊本県土木部河川港湾局砂防課から情報提供等の支援を想定。

■ スケジュール（案）

- ・ R8.5 管理構想検討開始
- ・ R8.6～11 検討会
- ・ R8.12～R9.1 管理構想素案の作成
- ・ R9.2～3 検討会
- ・ R9.3 成果報告

■ 管理構想を通じて検討したい課題：

（主要課題）

- 荒廃農地、空き家、遊休施設等の管理・活用
- 地域内産業（観光業、農林畜産業等）の活性化・地域資源（重要な自然文化）の活用
- 土砂災害対策を考慮した集落機能の維持（地域生活拠点の設定、防災拠点の設定）

（その他課題）

- 鳥獣害対策
- 農業基盤整備の更新
- 観光周遊システムの導入と運行体制の整備
- 農地の維持管理
- 担い手農家への農地集積
- 荒廃農地の発生防止
- 所有者不明農地の利活用
- まちづくりの方向性
- 景観の計画
- 生活環境基盤としての道路網の維持
- 地域生活拠点内及び同拠点を結ぶ幹線道路の維持

阿蘇地域の地域資源例（草原と畜産業）



出典：「世界農業遺産“阿蘇”オフィシャルサイト」（阿蘇地域世界農業遺産推進協会）